

I 令和5年度 公益財団法人高槻市文化スポーツ振興事業団事業報告

令和5年度事業計画に基づき、以下のとおり事業を行いました。

1. 地域の芸術・文化等の振興を図る事業【公益目的事業①】

自主文化事業の企画・実施や市民の自主的な文化活動の援助等を通じて市民文化の振興を図り、魅力ある市民文化、個性豊かな地域文化の創造に寄与することを目的として、本事業を実施しました。

令和5年度は、高槻城公園芸術文化劇場が開館した初年度ということで、当事業団の経験とつながりを活かし、数多くの公演等をオープニング事業として実施しました。

(1) 鑑賞事業

施設の規模や機能を効果的に活用し、市民が優れた芸術・文化にふれることができる鑑賞機会を提供しました。

以下のように世代・立場を超えてあらゆる市民に対し幅広い分野で質の高い、多種多様な事業を実施しました。また、長年、高槻現代劇場の事業を運営し培ってきた実績やノウハウ、演者との繋がりを活かし、単なる鑑賞系事業にとどまらない高槻現代劇場オリジナル企画を提供しました。

◇主な事業

- ・大阪フィルハーモニー交響楽団 特別演奏会
- ・立川談春独演会
- ・雅楽～千三百年 悠久の舞と調べ～
- ・アンサンブル九条山コンサート
- ・第30回 茂山一族デラックス狂言会「唐相撲」
- ・ステージタイガー演劇公演 #014「ブルースターナックル！」
- ・高槻城公園芸術文化劇場×愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama
パフォーミングアーツ・セレクション in Takatsuki
- ・BEGIN コンサートツアー2023
- ・デュオ・オペラ「ロミオがジュリエット Romeo will Juliet」
- ・第26回高槻明月能～能と狂言と京舞の午後～
- ・OSK 日本歌劇団高槻公演「高山右近物語」「Calling Moon」
- ・夕暮れ社 弱男ユニット 演劇本公演「ラブ・エリミネーション」
- ・上方落語競演会
- ・ジャズ大名
- ・友の会企画 映画上映会「泣き虫しょったんの奇跡」
- ・郷古 廉&北村朋幹 デュオ・リサイタル

(2) 普及・育成事業

市民が身近に芸術・文化を楽しみ、興味を持つことができる機会を提供するとともに、子どもたちが幼少期から優れた芸術・文化にふれることができる機会を提供しました。

以下のように誰もが気軽に参加できる事業を開催し、芸術・文化にふれる機会を提供しました。

◇主な事業

- ・ベートーヴェン「第九」演奏会
- ・第81期名人戦 第3局高槻対局（大盤解説会・対局観戦）
- ・高山右近の時代と音楽
- ・東京バレエ団〈子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」〉
- ・大阪フィルハーモニー交響楽団 夏休みファミリーコンサート
- ・高槻明月能プレイベント「能はゆかしい おもしろい」スペシャル
- ・障がいのある人のための和太鼓体験
- ・謡と鼓の短期体験教室

(3) 交流連携事業

多数の人数が来場する市民参加型事業のほか、地域、商店街等、イベント等と連携した催しを開催し、地域全体の活性化に寄与する事業等を実施しました。

以下のように実行委員会形式も含め、市内で活動する文化団体の活動を支援するほか、地域のプロの芸術家と連携した事業など、広く市民が参加できる事業を実施しました。また、プロの芸術家と市民が新しい作品を創造する機会を提供し、市民の表現活動を支援するとともに、人材の育成に努めました。

◇主な事業

- ・第19回・20回 たかつき和太鼓フェスティバル
- ・第25回高槻ジャズストリート
- ・高槻市吟剣詩舞道連盟による詩吟大会
- ・高槻 de 演劇 2023 初夏のプログラム
- ・高校吹奏楽部によるブラスの祭典 そよかぜコンサート 2023
- ・Takatsuki Earnest Dancers Vol. 14（高校生ダンス発表会）
- ・大阪府高等学校演劇研究大会 C 地区大会
- ・全国将棋サミット 2023
- ・筑前琵琶 山崎旭萃一門会
- ・第15回たかつきスクール JAZZ コンテスト

(4) 市民の文化活動を推進及び支援する事業

市民や行政と連携した事業の実施により市民の芸術・文化活動を推進及び支援しました。

以下のように地域のイベントや地元の商店街と連携し、地域と一体化した文化のまち高槻を目指しました。

◇主な事業

- ・Takatsuki Art Challenge（障がいのある人のアート展）
- ・第62回 高槻市美術展覧会
- ・令和5年度 高槻市文化祭
- ・第6回桐山清澄杯将棋大会、第5回高槻こども王将戦
- ・高槻市民寄席
- ・ロビーコンサート、サロンコンサート

(5) 文化・芸術関係の情報発信事業

芸術・文化関係の情報発信に努め、イベント等の情報について情報誌やインターネットを通じて情報発信を行いました。また、市民からの相談に応じて、アーティストの紹介や企画の提案等を行いました。

◇主な事業

- ・情報誌「T A T」の配布
- ・ホームページ及びSNS（Facebook、YouTube、X）の運営
- ・情報コーナーの運営

(6) 生涯学習事業

生涯学習に係る機会を提供することにより、市民の生涯にわたる学習活動を推進し、市民の生涯学習活動の振興に資する事業を行いました。

◇主な事業

- ・けやきの森市民大学
- ・紫式部と源氏物語の世界（NPO 法人たかつき市民カレッジと共催で講座を実施）

(7) 施設の管理・運営事業

市民の文化、芸術、生涯学習活動を推進し、文化、芸術及び生涯学習振興の発展を図るため、条例等に基づき、高槻城公園芸術文化劇場（高槻市立芸術文化劇場、高槻城公園）、高槻市立生涯学習センター及びクロスパル高槻（高槻市立総合市民交流センター）の施設の貸与を行いました。また、市民の芸術・文化活動の援助として後援名義使用を許可しました。（26件）

2. 地域のスポーツ活動の振興を図る事業【公益目的事業②】

市民スポーツへの支援活動等を行うことにより、市民が広くスポーツに親しみ、豊かな人間性の涵養と健康で活力に満ちた明るい市民生活の実現に寄与することを目的として本事業を実施しました。

高槻市スポーツ推進計画のもと、市民のだれもがスポーツを「する」・「みる」・「ささえる（育てる）」環境の場を提供し、生涯スポーツの振興を図る団体として地域のスポーツ活動への支援を行いました。

(1) 各種スポーツ大会等への支援

◇主な事業

- ・高槻市スポーツ団体協議会への支援（加盟30団体による各種大会・教室）
- ・大阪府総合体育大会・三島地区総合体育大会への役員及び選手の派遣
- ・第32回高槻シティーハーフマラソン
- ・第25回高槻クロスカントリー大会
- ・令和5年度プロ野球ウエスタンリーグ公式戦への支援

(2) スポーツ体験の機会の提供

◇主な事業

- ・第9回小学生を対象とした合同スポーツ体験教室

- ・第44回高槻市民スポーツ祭
- ・オリックスバファローズ選手による少年野球教室
- ・第9回親子わくわくベースボールの集い
- ・障がい者スポーツ事業への支援
 - ・第36回ふれあいプールレクリエーション
 - ・第37回サウンドテーブルテニス市民交流大会
 - ・第34回ふれあいレクリエーションスポーツの集い
 - ・障がい者スポーツ懇話会へ委員として参加
 - ・市民ふれあい運動会（中止）
- ・高槻市スポーツ推進委員協議会との共催事業
 - ・高槻市わくわく親子リズム
 - ・高槻市ニュースポーツの集い

3. 地域の芸術・文化等の振興に資する事業 【収益事業等】

市民の芸術・文化等の振興を図り、各施設の利用者への利便の向上を目的として、事業を実施しました。

(1) 公益目的以外での施設の貸与

公益目的である芸術・文化等の振興を達成する利用以外にも施設を貸与しました。

(2) 行政機関が使用する場所の管理

クロスバル高槻内の行政機関（消費生活センター、パスポートセンター等）が使用する場所の管理を行いました。

(3) 高槻文化友の会運営事業

会員受付数：高槻文化友の会 2,007 名

〔内訳：一般会員 643、グリーン会員 1,351、法人会員 13〕

(4) 広告掲載事業

情報誌への広告掲載を有料で受託しました。（1件）

(5) 公演チケットの委託販売

高槻市における芸術・文化及び生涯学習の振興に資すると判断される公演について、主催者からの依頼を受けチケットを販売しました。（33公演）

(6) 施設の利用者の利便を図る事業

自動販売機の設置、有料駐車場の運営を行いました。

令和5年度公益財団法人高槻市文化スポーツ振興事業団 文化・芸術関係事業実施状況

(事業報告附属明細書)

1. 地域の芸術・文化等の振興を図る事業一覧 ※◎印は新規事業

(1) 鑑賞事業

No.	事業名	内容	開催日	開催場所	入場者数 (/座席数)	主催 共催
1	◎大阪フィルハーモニー交響楽団 特別演奏会	出演＝尾高忠明(指揮)、仲道郁代(ピアノ)、大阪フィルハーモニー交響楽団 曲目＝ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」、交響曲第7番 [特徴] 当代随一の指揮者と名門オーケストラの演奏で新劇場のオープニングを飾る。ピアノ開きも兼ねており、ソリストは幼少期に高槻に在住したことのある日本を代表するピアニスト。	4月1日 (土)	トリシマホール	完売/1,461	主催
2	◎立川談春独演会	出演＝立川談春 演目＝宮戸川、御神酒徳利 [特徴] 立川談志門下で現在の落語界を代表する噺家の独演会。継続実施してきた上方落語とは異なる味わいで、迫力あふれる巧みな話芸で観客を魅了した。	4月2日 (日)	トリシマホール	1,190/1,500	共催
3	雅楽～千三百年 悠久の舞と調べ～	出演＝音輪会(おとのわかい) 内容＝雅楽の代表的な管絃の曲と解説(雅楽の歴史、楽器紹介)、舞楽 第一部 管絃 平調音取(ひょうじょうのねとり)、越殿楽残楽(えてんらくのこりがく)、陪臚(ばいろ) 第二部 雅楽アラカルト 雅楽の解説 第三部 舞楽 蘭陵王(らんりょうおう)、納曽利(なそり)、長慶子(ちやうげいし) [特徴] 太陽ファルマテックホールのこけら落とし公演。出演は高槻市民が中心的役割を担い、正統な雅楽精神の継承に努め活動している音輪会。古楽器の豊かな音色で会場に祝賀の空間を創出した。	4月9日 (日)	太陽ファルマテック ホール	完売/200	主催
4	◎秋園美緒 宝塚&ミュージカルナンバー コンサート ※中止	高槻出身の宝塚歌劇団OGで、ミュージカルで活躍している秋園美緒によるコンサート。2名のゲスト歌手、パーカッション、ピアノも加わり明るく楽しいステージ。緑に囲まれたホールでリラックスして歌と演奏を楽しむ。 出演者体調不良により中止。	4月15日 (土)	太陽ファルマテック ホール	—	主催
5	友の会企画 ピアニカの魔術師ライブ ～みんなで幕開け★新ホール～	出演＝ピアニカの魔術師ユニット、ゲスト/田島 隆(タンバリン)、エリック・ジェイコブセン(歌・ギター) 曲目＝クラシックメドレー(トランペット吹きの休日、天国と地獄、ウイリアムテル序曲)、トルコ行進曲、アンパンマンのマーチ(Jazz Hiphop ver.)、ルパン三世のテーマ、星に願いを、聖者の行進、タンバリン運動会、クラシックメドレー2022、この素晴らしき世界 ABC、Bow Wow Meow、Miso Soup、Every Day is a Beautiful Day、Imagination、Roly Poly、Yakisoba Please、Head Shoulders、Airplane 他 [特徴] 高槻文化友の会会員向けサービス企画。市民会館クロージングイベントに出演した人気音楽ユニットによるトリシマホール初となるファミリー向け公演。幅広い世代が楽しめるプログラムと巧みな演奏で会場を盛り上げ、クロージングで醸成した期待感を引継ぐとともに、新劇場を改めてアピールする機会となった。	5月21日 (日)	トリシマホール	792/1,000	主催

6	第30回 茂山一族デラックス狂言会「唐相撲」	<p>解説 茂山千五郎 演目と出演＝「延命袋」茂山七五三、丸石やすし、茂山あきら 「唐相撲」茂山宗彦、茂山千五郎、茂山千之丞、茂山 茂、茂山竜正、茂山虎真、茂山鳳仁、茂山慶和、茂山 蓮 ほか</p> <p>〔特徴〕毎年恒例の京都・大蔵流茂山千五郎家による狂言会。高槻では茂山家一族ほぼ総出演の構成が特徴。大人数で演じる「唐相撲」には一般市民も公募で出演。新劇場オープン記念を30回目となる節目の公演で華々しく彩った。</p>	6月4日 (日)	トリシマホール	483/983	主催
7	◎尺八の調べ 寄田真見乃、わノ国・千年の音を奏でる	<p>出演＝尺八／寄田真見乃、琴／日吉章吾、指揮／中村典子、弦楽／Ensemble clumusica 曲目＝古伝巢籠(古典本曲)、山本邦山:宍越、野村正峰:胡笳の歌、八橋検校:六段の調、中村典子: 伊福綴映 inspirare scriptum</p> <p>〔特徴〕令和5年2月に令和4年度京都府文化賞奨励賞を受賞した気鋭の尺八奏者・寄田真見乃によるコンサート。ソロ、箏、弦楽アンサンブルとの共演を通して古伝曲から現代曲まで、表情豊かな尺八の音色とともに、邦楽の新しい可能性を示した。</p>	6月17日 (土)	太陽ファルマテックホール	152/190	主催
8	◎アンサンブル九条山コンサート ～現代音楽ことはじめ～	<p>出演＝アンサンブル九条山(若林かをり(フルート)、上田 希(クラリネット)、石上真由子(ヴァイオリン)、福富祥子(チェロ)、森本ゆり(ピアノ)、太田真紀(ソプラノ)、畑中明香(打楽器)) 曲目＝ジョルジュ・アペルギス:7つの愛の罪、馬場典子:シオサイ 他</p> <p>〔特徴〕気鋭の音楽家による現代音楽アンサンブル。当事業団主催事業としての現代音楽コンサートは初めての試みであったが、視覚的要素のある作品や解説を交えたプログラムなどは現代音楽に馴染みのない方でも親しみやすい内容であった。</p>	6月24日 (土)	太陽ファルマテックホール	122/190	主催
9	ステージタイガー演劇公演 #014「ブルースターナックル！」	<p>作・演出＝虎本 剛(ステージタイガー) 出演＝ステージタイガー劇団員、公募オーディションによる出演者 内容＝演劇公演「ブルースターナックル！」</p> <p>〔特徴〕高槻を稽古拠点に関西を中心に活動している人気劇団による演劇公演。令和3年度に中ホールで上演し人気を博した作品を、サンユレックホール仕様に装いを一新して再演。高槻をモデルとした架空都市を舞台に殺陣やダンスシーンをふんだんに盛り込んだエンターテインメント性の高い作品を披露した。</p>	9月 1日(金) 2日(土) 3日(日)	サンユレックホール	616/720 【5回公演】	主催
10	平和堂財団芸術奨励賞受賞者演奏会 鳩の音楽会2023	<p>出演＝2022年度平和堂財団芸術奨励賞受賞者:大槻夏子(ピアノ)、鈴木麻琴(ソプラノ)、中嶋雫(ピアノ)、これまでの芸術奨励賞受賞者(ゲスト):小林千夏(ピアノ) 曲目＝ショパン:12の練習曲より第1番、リスト:バラード第2番、山田耕筰:からたちの花、三善晃編曲: 「唱歌の四季」より、ラヴェル:ラ・ヴァルス 他</p> <p>〔特徴〕滋賀県在住・在職・出身で将来優秀な芸術活動が期待できる新進芸術家の活動助成のため公益財団法人平和堂財団が実施している芸術奨励賞(音楽部門)受賞者による演奏会。びわ湖ホール、ひこね市文化プラザと高槻で開催。</p>	9月21日 (木)	中ホール	481/600	共催
11	◎高槻城公園芸術文化劇場×愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション in Takatsuki	<p>作品と出演＝「瀕死の白鳥」「瀕死の白鳥 その死の真相」 酒井はな(ダンサー)、四家卯大(チェロ) 「BLACK ROOM」「BLACKBIRD」よりソロ 中村恵恩(ダンサー)</p> <p>〔特徴〕日本を代表するダンスアーティストによるコンテンポラリーダンスの巡回公演。コロナ禍に創作された作品を各劇場の特徴に合わせて上演。作品上演後には、公演プロデューサーである唐津絵理と出演者によるポストパフォーマンストークを実施し、作品への理解を深める機会を提供した。</p>	9月30日 (土)	サンユレックホール	完売/134	主催

12	中村勘九郎 中村七之助 錦秋特別公演2023	出演＝中村勘九郎 中村七之助、中村鶴松、中村仲助、中村仲侍 他□ 内容＝トークコーナー、女伊達 長唄囃子連中、桑名浦乙姫浦島 長唄囃子連中□ 〔特徴〕人気の歌舞伎一座による全国巡回舞踊公演を高槻で初開催。主役の中村勘九郎、七之助兄弟は開館記念式典でもビデオメッセージで登場。百五十六年ぶりの復活舞踊劇も行い、全国からファンが訪れ新劇場の周知につながった。	10月9日 (月祝)	トリシマホール	2,876/3,000 【2回公演】	共催
13	金関 環の愉快的弦楽トリオ	出演＝金関 環(ヴァイオリン・ヴィオラ)、辻本明日香(ヴァイオリン)、ルドヴィート・カンタ(チェロ) 曲目＝イングランド民謡: グリーンスリーブス、エルガー: 愛のあいさつ、ベートーヴェン: 弦楽三重奏曲第3番ニ長調より第1楽章、ボロディン: 弦楽三重奏曲ト長調より第1楽章、ハイドン: ロンドン・トリオ第1番ハ長調 他 〔特徴〕これまで事業団主催事業を多数手掛けてきた金関環を中心とした弦楽器コンサート。分かりやすい解説と軽妙なトークを交えながらの演奏会は、弦楽器の織りなす美しい世界に親しみを持ちながら楽しむことができた。	10月9日 (月・祝)	レセプションルーム	134/200	共催
14	BEGINコンサートツアー2023	出演＝BEGIN 曲目＝憧れのアンダー、恋しくて、声のおまもりください、結の唄、海の唄、海の声、島人ぬ宝 他 〔特徴〕全国的に活躍するBEGINによる、事業団主催ではトリシマホール初となるポップス系コンサート。デビュー33周年を迎える円熟した演奏技術と沖縄の方言の温かみ溢れるトークで、満員の会場は大いに盛り上がった。	10月20日 (金)	トリシマホール	完売/1,430	主催
15	◎デュオ・オペラ「ロミオがジュリエット Romeo will Juliet」	出演＝ソプラノ／太田真紀、ギター／山田 岳 作曲＝足立智美 台本＝GPT-2(原作 ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』) 演出＝あごうさとし 〔特徴〕＝AI(人工知能)が作成した台本を、ソプラノ歌手とギタリストがオペラ化。荒唐無稽なテキストに技巧を駆使した演奏、映像、パフォーマンスが一体となった不条理で斬新な舞台。意味をなさないテキストを舞台化するという新しい試みだが、アフタートークでの「分からないものの出会いが新しい視点をひらく」という関係者の言葉に頷くお客様も多く、新しい舞台芸術の可能性を提示した。	11月 18日(土) 19日(日)	サンユレックホール	146/336 【2回公演】	主催
16	第26回高槻明月能 ～能と狂言と京舞の午後～	演目と出演＝京舞「松の羽衣」井上八千代・井上安寿子、狂言「末廣かり」野村萬斎、能「鞍馬天狗 白頭」片山九郎右衛門 他 〔特徴〕最高水準の演者により継続開催してきた京都の片山家能楽・京舞保存財団との協働企画。今回は開館を記念して京舞が公演の幕開けを飾った。客席には学生と思われる比較的若い世代の姿も目立った。次世代に伝統芸能をつなぐ貴重な機会であり、高槻ブランドとして引き続き開催する意義があると考えられる。	11月18日 (土)	トリシマホール	874/951	主催
17	OSK日本歌劇団高槻公演「高山右近物語」「Calling Moon」	出演＝OSK日本歌劇団 内容＝第一部ミュージカル「高山右近物語ー信と義の狭間でー」(作・演出: はやみ甲、主演: 登堂結斗) 第二部レビュー「Calling Moon」(作・演出・振付: 平澤智、主演: 桐生麻耶) 〔特徴〕高槻城主として高槻を治めたキリシタン大名 高山右近を主人公にした書き下ろしミュージカル作品と、ジャズダンスやラインダンスなどを取り入れたレビュー作品の二本立て公演。多くの観客が来場し、OSK日本歌劇団ならではの華やかな舞台を楽しんだ。アンケートからも「初めてこの劇場に来た」、「初めてOSKを観劇した」といった内容が非常に多く、劇場と劇団の双方にとってアピールする良い機会となった。	12月3日 (日)	トリシマホール	1,899/2,728 【2回公演】	主催

18	◎夕暮れ社 弱男ユニット 演劇本公演「ラブ・エリミネーション」	<p>作・演出＝村上慎太郎(夕暮れ社 弱男ユニット) 出演＝夕暮れ社 弱男ユニット劇団員 他 内容＝演劇公演「ラブ・エリミネーション」</p> <p>[特徴] 京都を拠点に活動し、多数の演劇賞受賞歴のある劇団「夕暮れ社 弱男ユニット」によるサンユレックホールでの小劇場演劇公演。多数の出演者が自転車に乗車して劇場内を周回し続けるホールの特徴的な構造を活かした演出を実施。劇団のファンを中心に幅広い世代が来場。京都の演劇関係者も多く来場し、大阪以外の観劇層にも劇場の存在をアピールする機会ともなった。</p>	12月 8・9・10日 (金・土・日)	サンユレックホール	271/454 【4回公演】	主催
19	上方落語競演会	<p>出演と演目＝桂 二豆「つる」、桂 そうば「手水廻し」、桂 吉弥「ないしょ話(桂 三枝・作)」、桂 南光「抜け雀」、桂 米團治「七段目」、桂 千朝「鹿政談」</p> <p>[特徴] 新劇場の開館を記念して、米朝一門の人気・実力ともにトップクラスの落語家が一堂に会する落語会をトリシマホールで開催。故・米朝の直弟子と孫弟子の6人が出演し、それぞれの得意演目を熟演。上方落語の魅力を存分に堪能できる公演となった。</p>	12月9日 (土)	トリシマホール	1,254/1,401	主催
20	◎劇研アクターズラボ＋サファリ・P「私鉄沿線・B」 演劇公演「森の童話三部作」	<p>脚本・演出＝山口茜(サファリ・P) 出演＝私鉄沿線・B劇団員 内容＝演劇公演「森の童話三部作」</p> <p>[特徴] 高槻de演劇からスタートし、10年以上に渡って活動を続ける市民劇団「私鉄沿線・B」による演劇公演。劇団「サファリ・P」の山口茜が講師を務めている。地元で長期的に活動する市民劇団の公演を支援するとともに、多様な演劇作品の鑑賞機会を提供する機会となった。</p>	12月 16・17日 (土・日)	サンユレックホール	109/254 【2回公演】	共催
21	◎トリプルピアノが響き合うクラシックとジャズの特別な午後	<p>出演＝ピアノノ／白石光隆、金子三勇士、松永貴志 曲目＝【白石ソロ】ベートーヴェン:トルコ行進曲の主題による6つの変奏曲、【松永ソロ】即興演奏、【金子ソロ】ブラームス:ハンガリー舞曲第5番、【6手連弾】ラフマニノフ:6手のための2つのピアノ作品より「ロマンス」、【3台ピアノ】ブッチーニ(長生淳編曲):名作オペラメドレー、チャイコフスキー(萩森英明編曲):組曲「くるみ割り人形」、チック・コリア(萩森英明編曲):スペイン ほか</p> <p>[特徴] 異なるジャンルで活躍する3人のピアニストが一堂に会し、3台のフルコンサートグランドピアノを使用したコンサート。各々の演奏スタイルがよく分かるソロ演奏、滅多に演奏される機会のない6手連弾、大迫力の3台ピアノによる演奏が聴衆を魅了した。</p>	12月16日 (土)	トリシマホール	414/985	主催
22	市制施行80周年記念 高槻ジャズストリート・デトロイトジャズフェスティバル 国際交流記念スペシャルライブ	<p>出演＝高槻ジャズストリート実行委員会、KHAMSIN(カムシン)</p> <p>[特徴] ・「高槻ジャズストリート」と「デトロイトジャズフェスティバル」の国際交流の記録を発表。具体的には、写真などのスライドを流し、説明した。 ・高槻ジャズストリート推薦ミュージシャンとして、デトロイトジャズフェスティバルにて演奏を行った「KHAMSIN(カムシン)」によるステージ演奏を披露した。</p>	12月17日 (日)	トリシマホール	700/1,000	共催
23	◎「ジャズ大名」	<p>出演＝千葉雄大、藤井 隆、大鶴佐助、山根和馬、富田望生、大堀こういち、板橋駿谷、北尾 亘、ダンテ・カーヴァー、公募した市民エキストラ14名 ほか 演奏＝大熊ワタル、川口義之、辰巳光英、和田充弘、桜井芳樹、こぐれみわぞう、関根真理、関島岳郎 原作＝筒井康隆<「エロチック街道」(新潮文庫)所収>、上演台本＝福原充則、山西竜矢、演出＝福原充則、音楽＝関島岳郎、振付＝北尾 亘 助成＝一般財団法人地域創造</p> <p>[特徴] KAAT神奈川芸術劇場が制作した大型舞台公演を他地域の公共劇場等と連携して横浜、神戸、刈谷、高槻で開催。パワフルなダンスとプロミュージシャンの、生演奏で人間の好奇心が人種や身分を越えて熱狂の渦を生み出す様を描き出した。千秋楽は満席。若い世代を中心に全国から訪れた来場者がSNS発信を多数行い、高槻市と新劇場のPRにつながった。</p>	1月20・21日 (土・日)	トリシマホール	3,665/4,074 【3回公演】	主催

24	◎友の会企画 映画上映会「泣き虫しよったんの奇跡」	出演＝瀬川晶司六段(原作者) 内容＝映画「泣き虫しよったんの奇跡」上映と原作者舞台挨拶 [特徴] 太陽ファルマテックホールでは初となる映画上映事業を、友の会会員向けのサービス企画として開催。現役で活躍するプロ棋士の半生を題材としたノンフィクション作品を選定し、原作者である棋士本人の舞台挨拶も実施した。	1月28日 (日)	太陽ファルマテック ホール	340/380 【2回公演】	主催
25	◎「増幅する光と音響」展 「Laserscapes “Trees (1991-2020)”」 「Laserscapes “24 Solar Terms”」	出展＝Otograph(アートユニット/井浦 崇、大島幸代) 作品＝トリシマホール展示作品「Laserscapes“Trees (1991-2020)”」 太陽ファルマテックホール展示作品「Laserscapes“24 Solar Terms”」 関連展示「Laserscapes-Trees (1991-2020), Prototype」 内容＝劇場ホール機能を活用したレーザーと音響を使ったインスタレーション [特徴] 地元の大学に所属する現代アート作家による劇場機能を活用したインスタレーション。レーザー光や音響を組み合わせ、ホール内に非日常的なアート空間を創出。来場者からも非日常的な時間を体感できたと好評で、新劇場のユニークな意匠や構造を活かした作品となった。	1月30日 (火) ～2月4日 (日)	スタジオ 等	のべ1,604	主催
26	◎なにわニコルソング公演	作・演出＝木下半太(なにわニコルソング) 出演＝なにわニコルソング劇団員、山本浩之、西上真帆 他 内容＝演劇公演「お通夜イレブン」 [特徴] 小説家、ドラマ脚本家としても活躍する高槻ゆかりの俳優・木下半太が主宰する劇団による演劇公演。知名度のあるキャストの起用など、手広く宣伝を重ねた結果、サンユレックホールの公演ながら1000人を越える観客を動員。幅広い演劇ファン層へ向けて新設されたホールをアピールする機会となった。	2月 9～12日 (金～月祝)	サンユレックホール	1,166/1,200 【8回公演】	共催
27	郷古 廉&北村朋幹 デュオ・リサイタル	出演＝郷古 廉(ヴァイオリン)、北村朋幹(ピアノ) 曲目＝ドビュッシー: ヴァイオリン・ソナタ、ルクー: ヴァイオリン・ソナタ外長調、シェーンベルク: 幻想曲 Op.47、ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ第3番ニ短調 Op.108 [特徴] 2008年以来たびたび高槻現代劇場に登場してきたヴァイオリニスト郷古 廉と、古楽器演奏から現代音楽まで独自の活動が注目を集めるピアニスト北村朋幹の優れた演奏を、室内楽に適した太陽ファルマテックホールで実施。	3月16日 (土)	太陽ファルマテック ホール	完売/196	主催
28	◎ディズニー・ワールド・ビート	出演＝音楽監督/ブラッド・ケリー、ブラッド・ケリー・ビッグバンド、歌手/グレゴリー・フレッチャー、サラ・マン 他 演奏作品＝ライオン・キング、アラジン、ジャングル・ブック、わんわん物語、モアナと伝説の海、ミラベルと魔法だらけの家 他 [特徴] 幅広い世代に人気のディズニー音楽を歌手とビッグバンドで演奏する全国ツアー。映画作品の舞台になった国を音楽で旅するプログラム。映画の名シーンを上映しながらジャズやラテンアレンジで演奏。平日夜というホールの稼働率が低いタイミングを有効活用することができた。	3月22日 (金)	トリシマホール	1,041/1,420	共催
29	大阪フィルハーモニー交響楽団	出演＝円光寺雅彦(指揮)、外村理紗(ヴァイオリン)、大阪フィルハーモニー交響楽団 曲目＝チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35、ビゼー: 組曲「アルルの女」より、ラヴェル: ボレロ 他 [特徴] 高槻城公園芸術文化劇場の柿落とし公演にも出演した名門オーケストラによる演奏会。次年度以降は主催で実施予定。	3月23日 (土)	トリシマホール	1,177/1,505	共催

(2) 普及・育成事業

No.	事業名	内容	開催日	開催場所	入場者数	主催 共催
1	「第九」演奏会プレイベント ～指揮者と現代作曲家の語り～	出演＝石川征太郎(指揮者)、中村滋延(作曲家) 内容＝5月7日「第九」演奏会の指揮者による楽曲解説と、プログラム最初に演奏する交響詩(歴史幻想たかつき)の作曲家との対談。 〔特徴〕前半は本公演のプログラム「第九」の総譜をスクリーンに投影、ピアノ演奏を交えて楽曲の特徴を丁寧に解説。後半は作曲家自身が創作の経緯や聴きどころをトーク形式で紹介。本公演への期待が高まった。	4月16日 (日)	太陽ファルマテック ホール	132/200	主催
2	歌声くらぶ in 高槻	講師＝喜多光三(ピアノ・アコーディオン)、竹内直紀(テノール) 内容＝唱歌や流行歌を中心にした参加型歌唱講座とオペラ歌手などによるミニコンサート 〔特徴〕参加型歌唱イベント。昭和の流行歌や唱歌を中心に曲の解説と参加者全員での斉唱。オペラ歌手によるミニコンサートも。	毎月 第4水曜日 (1月を除く)	レセプションルーム	のべ 765	共催
3	ベートーヴェン「第九」演奏会	出演＝指揮／石川征太郎、管弦楽／京都市交響楽団、ソプラノ／森 麻季、アルト／林 美智子、テノール／錦織 健、バリトン／平野 和、合唱／高槻城公園芸術文化劇場開館記念「第九」合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブル 曲目＝中村滋延：交響詩(歴史幻想 たかつき)(新作初演) ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付き」 〔特徴〕はじめに高槻市出身・在住の作曲家による高槻の歴史をテーマにした曲の新作初演が行われ、開館記念に相応しい幕開けとなった。続く「第九」では、実力・人気ともトップクラスのソリストとオーディション選考を経て練習を重ねた市民合唱団が共演。晴れやかでスケールの大きい歓喜の歌が新ホールに響き渡った。	5月7日 (日)	トリシマホール	完売/1,337	主催
4	◎第81期名人戦 第3局高槻対局(①大盤解説会 ②対局観戦)	内容＝将棋の8大タイトル戦の一つで、最も歴史のある名人戦を開催。4連覇を目指す渡辺明名人と順位戦A級で優勝した挑戦者：藤井聡太竜王が対局。 〔特徴〕市政施行80周年及び新劇場の開館を記念して開催。大盤解説会は満席となり、高槻市の進める将棋文化へ貢献するとともに将棋文化の振興を図ることができた。また、マスコミにも多く取りあげられたことで、高槻市及び新劇場の知名度を高めることができた。	5月 13・14日 (土・日)	①トリシマホール ②中スタジオ1	①1,500 ②5(抽選)	共催
5	◎高山右近の時代と音楽	出演＝お話：西本幸嗣(高槻市文化財課学芸員)、演奏：アンサンブルオリエンターレ<(高本一郎(リュート)、彌勒忠忠(カウンターテナー)、田島 隆(タンバリン))> 内容＝第一部 お話「西洋に出会った高山右近～リュートの調べとともに～」 第二部 コンサート「ルネサンスの音世界」スバニョレッタ、千々の悲しみ、グレゴリオ聖歌「おお、栄えある聖母よ」 他 〔特徴〕新劇場が高槻城二の丸跡に建設されたことを踏まえ、高槻市文化財課と連携したキリシタン大名として高槻を治めた高山右近にまつわる歴史的講座と、西洋で当時演奏されていたであろうルネサンス音楽のコンサートを二部構成で開催。響きの良い太陽ファルマテックホールで、当時に思いを馳せながら繊細な音の響きを楽しむことができた。	7月15日 (土)	太陽ファルマテック ホール	154/205	主催
6	人形劇団クラルテ公演	出演＝人形劇団クラルテ 内容＝人形劇「11ぴきのねことへんなねこ」(原作／馬場のぼる(ごごま社刊)、脚色・演出／東口次登、人形美術／永島梨枝子) 〔特徴〕7月恒例の子ども向け人形劇公演。発売から1週間あまりで完売。人気の児童書「11ぴきのねこ」シリーズを原作にした作品を大勢のファミリーが楽しんだ。初めて手話による鑑賞サポートを実施、障がいの有無に関わらず舞台芸術を楽しむ機会を提供した。	7月17日 (月・祝)	中ホール	544/602	共催

7	◎東京バレエ団「子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」	<p>出演＝東京バレエ団(キトリ:秋山 瑛、バジル:大塚 卓)</p> <p>〔特徴〕世界で活躍する東京バレエ団による4才から入場可の本格バレエ公演。高槻市のバレエ教室の子どもたちも子役として出演。一流のダンサーによる舞台を大勢の家族連れが楽しんだ。関連してプロが指導する子ども向けのバレエ体験ワークショップも企画。体験と鑑賞を通してバレエをより深く楽しむ機会を提供した。</p>	<p>①W.S.6月25日(日)</p> <p>②本公演8月3日(木)</p>	<p>①中スタジオ1</p> <p>②トリシマホール</p>	<p>①61</p> <p>②1,323/1,473</p>	主催
8	大阪フィルハーモニー交響楽団 夏休みファミリーコンサート	<p>出演＝指揮(進行):永峰大輔、管弦楽:大阪フィルハーモニー交響楽団</p> <p>曲目と内容＝モーツァルト/「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第1楽章、アンダーソン/シンコペーテッド・クロック、トランペット吹きの休日、マスカーニ/歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲、楽器紹介、指揮者体験、ボディパーカッション 他</p> <p>〔特徴〕オーケストラの名門・大阪フィルハーモニー交響楽団によるファミリー向け演奏会。0才から入場可とし、家族揃って参加できるオーケストラ公演への期待や新劇場への関心も高くチケットは完売。オーケストラの生演奏と指揮者による分かりやすい解説を多くの観客が楽しんだ。</p>	8月27日(日)	トリシマホール	完売/1,460	主催
9	◎生命誌から生命科学の明日を拓くIV	<p>出演＝山極壽一(人類学者)、小川洋子(小説家)、永田和宏(JT生命誌研究館館長)</p> <p>内容＝総合地球環境学研究所所長の山極壽一による講演と鼎談</p> <p>〔特徴〕高槻市にあるJT生命誌研究館の設立30周年記念のシンポジウム。総合地球環境学研究所所長の山極壽一をゲストに招き、講演と鼎談を通して生命科学の知見を生かした持続可能な社会づくりについて考えるシンポジウムを実施。</p>	9月30日(土)	中ホール	515/600	共催
10	高槻明月能プレイベント 「能はゆかしい おもしろい」スペシャル	<p>出演＝井上八千代(京舞井上流五世家元)、片山九郎右衛門(観世流能楽師シテ方)</p> <p>聞き手＝亀岡典子(産経新聞文化部編集委員)</p> <p>〔特徴〕前半は能「鞍馬天狗」の記録映像を投影しながら、シテならではの役に寄り添った視点であらずじや作品の見どころを解説。後半は謡の一節を仕舞で実演した後、今回の高槻明月能にも出演する京舞の人間国宝・井上八千代との貴重な姉弟トークが実現。京都という文化都市において古典芸能を守り伝えていく中心的立場にある二人ならではのお話は、時にユーモアを交えながらも示唆に富んだ内容も多く、非常に有意義な時間となった。</p>	10月20日(金)	サンユレックホール	118/168	主催
11	障がいのある人のための和太鼓体験	<p>講師＝高槻太鼓メンバー</p> <p>内容＝和太鼓の体験</p> <p>〔特徴〕障がいのある人が気軽に参加できる和太鼓体験の場。高槻市障害児者団体連絡協議会と連携し、高槻太鼓の協力を得て取り組んだ。例年より若い世代の参加者が多く、珍しい和太鼓に関心を寄せ熱心に演奏する姿が見られた。</p>	12月2日(土)	中ホール ロビー	25/30	主催
12	謡と鼓の短期体験教室 前期・後期	<p>講師＝幸流小鼓方 成田達志 大倉流大鼓方 山本寿弥〔前期〕、山本哲也〔後期〕</p> <p>内容＝能の解説(前期:観世流と金剛流の比較公演企画「和魂IX」、後期「蘆刈」) 謡と大鼓・小鼓の体験</p> <p>〔特徴〕能の囃子方が指導する謡と鼓の体験講座。初心者が気軽に能楽に触れ、既に親しんでいる方にはより深い理解を得る機会を提供。2回の講座のみのコースと、能楽堂公演鑑賞付の二つのコースを設定。講師による丁寧で的確な解説と指導により、より深い能楽の理解につながる講座となった。</p>	<p>8月16・23日(水)</p> <p>1月24・31日(水)</p>	中スタジオ2ほか	のべ90	共催

(3) 交流連携事業

No.	事業名	内容	開催日	開催場所	入場者数	主催 共催
1	第19回 たかつき和太鼓フェスティバル	出演＝芥川・高槻北高校各和太鼓部、平安女学院大学和太鼓部、Iris(アイリス)、阿久打会(あくたかい)、上方太鼓連、鼓太舞(こだま)、高槻ふれあい太鼓、免音(とと)、和(のどか) 司会／田中津久美(高槻北高校和太鼓部卒業生) ゲスト／鼓童 内容＝地域の和太鼓グループ10チームとプロ和太鼓チームによる演奏会 〔特徴〕高槻を拠点に活動する和太鼓グループが一堂に会するフェスティバル。高校生と社会人が協働して実行委員会として運営。開館記念公演としてプロ和太鼓集団「鼓童」も登場し、各チームが個性を発揮した演奏で会場を盛り上げた。	4月23日 (日)	トリシマホール	完売/1,457	主催
2	第25回 高槻ジャズストリート	出演＝シーネ・エイ(ヴォーカル)、Shiho(ヴォーカル)、日野皓正(トランペット)、伊丹市立伊丹高等学校 ICHI☆ITA JAZZ Ensemble 他 〔特徴〕高槻市内各地で開催される日本最大級の手作り音楽イベント。著名なアーティストが登場するトリシマホールでのメインイベントの他、中ホール、太陽ファルマテックホール、サンユレックホールなど高槻城公園芸術文化劇場内で開催されるイベントを支援。新劇場を中心に公園エリア全体の賑わいを創出した。	5月 3日(水祝) 4日(木祝)	トリシマホール 等	のべ 42,586	共催
3	高槻市吟剣詩舞道連盟による詩吟大会	出演＝一般市民 曲目＝課題曲吟詠 〔特徴〕高槻市吟剣詩舞道連盟が誘致して開催する全国大会を支援。5月にジュニア、シニア、6月一般、7月指導者の部門別で開催した。市内外から多くの出場者が集うため、新劇場のアピールの機会になった。	①5月28日 ②6月25日 ③7月9日 (日)	トリシマホール 等	①800 ②800 ③1,200	共催
4	高槻de演劇2023 初夏のプログラム	内容＝市民劇団4団体によるオリジナル作品の上演と演劇ワークショップ ①高槻シニア劇団そよ風ペダル第9回公演「喜劇 新航海時代」 ②劇研アクターズラボ＋伊藤拓也 あした帰った第3回公演「あなたは山になる」 ③高槻シニア劇団千年団第4回公演「みんなでチェーホフ～チェーホフ短編戯曲集～」 ④劇団水曜の家族第8回公演「さくら川商店街の唄」 ⑤俳優体験ワークショップ 〔特徴〕共催事業の劇研ワークショップ内で活動する劇団(あした帰った)と自主サークル劇団(劇団水曜の家族、高槻シニア劇団そよ風ペダル、千年団)による発表公演と俳優体験ワークショップ。これまで市民会館305号室で継続実施していた事業を、演劇向けに新設されたサンユレックホールのこけら落としとして開催。過去会場と比較してテクニカル面、特に照明分野で表現できる幅が大きく広がっており、今後の演劇公演にも期待が高まる事業となった。	6月 3・4日 (土・日) 10・11日 (土・日) 13・14・15日 (火・水・木)	サンユレックホール	①～④ 630/840 【7回公演】 ⑤のべ51	主催
5	高校吹奏楽部によるプラスの祭典 そよかぜコンサート2023	出演＝大冠、関西大学中・高等部、北千里、金光大阪中・高、千里、高槻北、高槻中・高、槻の木、三島 各高校吹奏楽部 内容＝各高校吹奏楽部による単独演奏と、フィナーレに合同演奏「翼をください」 〔特徴〕市内高校を中心に吹奏楽部9校によるコンサート。準備から演奏会実施までのすべてを2、3年生の高校生が自主的に運営。ゲストとして龍谷大学吹奏楽部が出演する予定だったが、関係者に新型コロナウイルスの感染者が確認されたため、公演前日に出演辞退が決定。	6月18日 (日)	トリシマホール	完売/914	主催

6	アクターズラボ高槻 劇研ワークショップ	講師＝土橋淳志(A級MissingLink所属/劇作家・演出家)、二口大学(俳優) 参加＝公募市民 内容＝年1回の発表公演を目指す継続的な演劇ワークショップ 〔特徴〕プロの演出家・俳優を講師に迎え、令和6年6月の高槻de演劇内での上演実施を目指す演劇ワークショップ。劇団として3年間継続予定。体調不良のため、2月より講師を土橋淳志から二口大学に変更して講座を再開。	6月～ 毎週火	スタジオ	のべ68	共催
7	Takatsuki Earnest Dancers Vol.14 (高校生ダンス発表会)	出演＝芥川、阿武野、追手門学院、大阪青凌、春日丘、北千里、北野、渋谷、千里青雲、高槻北、槻の木、豊中、浪速、福井、北摂つばさ、三島 各高校ダンス部/ゲスト＝Ω-Dice 内容＝高校ダンス部16校による発表会(31チーム354名参加)とゲストパフォーマンス 〔特徴〕市内外の高校のダンス部によるホールでの本格的な発表公演。参加する生徒・顧問による実行委員会が自主的に企画・運営。昨年から引き続きとなる発表会部門、コンテスト部門、ダンスバトルに加えて、今年度は開館記念としてゲストパフォーマンスと大会バナー作成も実施。	7月26日 (水)	トリシマホール	634/868	主催
8	◎大阪府高等学校演劇研究会C地区大会	出演＝追手門学院高校、大阪成蹊女子高校、大阪高校、北千里高校、北摂つばさ高校、早稲田摂陵高校 各校演劇部 内容＝北摂地区の高校演劇部6校による発表公演と、それに向けての試演会。 〔特徴〕1951年から開催されている大阪府高等学校演劇連盟に加盟する北摂地区の高校演劇部による作品上演会。舞台表現及び研究の場として実施されており、初めて高槻会場を使用するにあたり、7月には大阪成蹊女子高校による試演会及び出演校向けの説明会も実施。	7月27日 (木) 11月10・ 11日 (金・土)	サンユレックホール	560/700 【7回公演】	共催
9	◎Highschool Play Festival 大阪高校演劇祭	出演＝大阪成蹊女子高校、枚方なぎさ高校、咲くやこの花高校 各校演劇部 内容＝大阪府内高校演劇部による発表公演 〔特徴〕大阪府内の高校演劇部による合同演劇祭。コンクール(研究大会)とは異なる、発表活動にとらわれない自由な舞台表現の場として開催。府内4つの会場を舞台に12校が参加し、高槻では3校が上演。高校演劇部の活動を支援するとともに、大阪府内の演劇関係者へサンユレックホールをアピールする機会となった。	7月 28・29・30日 (金・土・日)	サンユレックホール	318/480 【3回公演】	共催
10	第24回 大阪国際音楽コンクール	出演(コンサート)＝ファイナル審査第1位受賞者24組 〔特徴〕予選・地区本選にはのべ2,355組が参加。高槻では、ピアノ、2台ピアノ、連弾、声楽、弦楽器、民俗楽器、アーリーミュージック、アンサンブル、デュオの各部門ファイナル審査を中ホール及び太陽ファルマテックホールで、ファイナル審査第1位受賞者によるグランドファイナル＝ガラコンサートを中ホールで開催した。グランプリは声楽部門のヒョンソク・チョ(バリトン)、高槻市長賞は民俗楽器部門のタ・ルアン。	10月9日 (月祝)	中ホール	226/602	共催
11	◎全国将棋サミット2023	内容＝①日本将棋連盟会長・羽生善治九段による記念講演、自治体代表者による将棋事業の取組紹介、中村太地八段・豊川孝弘七段・村田智穂女流二段に加え声優の岡本信彦によるトークショー、藤井猛九段 対 久保利明九段の記念席上対局など ②将棋の指せる小・中学生を対象とした棋士による指導対局(事前申込制) 〔特徴〕将棋文化の継承と普及に関する事業を通じて地域の発展を目指す自治体が一堂に会し、各地での取組について意見交換を行い、交流と連携を促進した(①)。また、日本将棋連盟所属棋士による指導対局も行った(②) 場所は北館展示室。	10月28日 (土)	トリシマホール	1,200/1,500	共催
12	第13回 藤井竹外吟詠大会	出演＝一般市民 曲目＝課題曲吟詠 〔特徴〕七言絶句の作で名を残した高槻藩士藤井竹外を顕彰した全国詩吟コンクール大会。市民の熱心な文化活動を支援するとともに、市外からの参加者、観客へ高槻の存在のアピールに繋がった。	11月26日 (日)	中ホール	150/205	共催

13	筑前琵琶 山崎旭萃一門会	<p>演目と出演＝「土蜘蛛」奥村旭翠(人間国宝)、「琵琶吟二題」山崎光掾 他</p> <p>〔特徴〕人間国宝で高槻市名誉市民の故山崎旭萃一門による筑前琵琶の演奏。高槻での開催を継続。会場を従来のレセプションルームから新劇場のホールに移して開催。地元にはゆかりのある文化団体の活動を支援し、主催事業にないジャンルの補完、地域文化のレベルアップに繋がった。</p>	12月10日 (日)	太陽ファルマテック ホール	142/205	共催
14	第15回 たかつきスクールJAZZコンテスト	<p>出演＝近畿一円の中学校・高校12校のスクールバンド ゲスト／オリジナルハードジャズオーケストラ 審査員／大山日出男、古谷光広、横尾昌二郎、蓑輪裕之、クリス</p> <p>〔特徴〕中学・高校のスクールバンドを対象にしたコンテスト。青少年が音楽に親しむ場を提供し、「まちがすきになる」心を育もうとする地域の活動を支援。高槻市文化スポーツ振興事業団賞に名古屋市立向陽高等学校を選出。市内の中高生が多く出場するジャズコンテストの実行委員会の活動を支援し、高槻市の音楽文化のレベルアップに繋がった。</p>	1月14日 (日)	トリシマホール	のべ1,090	共催
15	◎わくわく！TATライブラリー	<p>内容＝京都芸術大学アートプロデュース学科の学生による企画。乳幼児とその家族を対象に、劇場を身近に感じられることを目的として開催。 ①総合案内付近と中スタジオ4に本棚を設置。中スタジオ4にはマットを敷き、学生による読み聞かせやゆったりと絵本が読めるスペースに。 ②学生手作りの動物の人形を探しながら、中スタジオ4から総合案内付近を往復するツアー形式の電車ごっこを実施。</p> <p>〔特徴〕劇場内での本棚設置や電車ごっこの開催はファミリー層が気軽に参加することができ、劇場を身近に感じてもらうとともにPRにも繋がる機会となった。</p>	1月10日 (水) 13日(土)	南館総合案内付 近及び中スタジオ4	のべ100	共催
16	第29回 ピアノリレーコンサート	<p>出演＝一般公募により参加した小学4年生以上の195組 203人(初参加80人)</p> <p>〔特徴〕1人1曲12分以内(連弾可)で自分の好きな曲を暗譜演奏するホール開放事業。市内外問わず、小学校4年生から80代まで幅広い世代が参加。初めて新劇場を利用する方も多く、参加者・来場者ともに音響の良い太陽ファルマテックホールでスタインウェイのフルコンサートピアノの音色を楽しんだ。</p>	2月 23日(金) 24日(土) 25日(日)	太陽ファルマテック ホール	のべ400	主催
17	第11回 たかつき市民能	<p>演目と出演＝能「石橋」浦田保浩、舞囃子「羽衣」浦田保親、狂言「祭化」茂山逸平、ちびっこ連吟・仕舞隊 他</p> <p>〔特徴〕高槻で江戸時代から盛んに演じられていた能楽を、広く市民に親しんでもらうことを目指してたかつき能楽に親しむ会が開催。市民会館大ホールで継続開催。子どもたちの発表や演目の解説もあり、伝統芸能を気軽に鑑賞できる機会を提供した。</p>	3月2日 (土)	トリシマホール	950/1,505	共催
18	第20回 たかつき和太鼓フェスティバル	<p>出演＝芥川・大冠・高槻北高校各和太鼓部、Iris(アイリス)、阿久打会(あくたかい)、上方太鼓連、鼓太舞(こだま)、和(のどか)、政やの絆 司会／田中津久美(高槻北高校和太鼓部卒業生) 内容＝地域の和太鼓グループ9チームによる演奏会</p> <p>〔特徴〕高槻を拠点に活動する和太鼓グループが一堂に会するフェスティバル。高校生と一般社会人が協働して実行委員会として運営。開館記念の令和5年度は特別に年2回の開催。新劇場で初開催となった令和5年4月の上演形態を引継ぎつつ、各チーム共通バミリ方式を導入するなど、運営作業の効率化に努めた。</p>	3月3日 (日)	トリシマホール	1,317/1,400	主催

(1)～(3) 公演事業数 主催33事業 共催26事業 合計59事業
入場者数 主催26,044人 共催62,479人 合計88,528人

(4) 市民の文化活動を推進及び支援する事業

No.	事業名	内容	開催日	開催場所	入場者数	主催 共催
1	◎令和5年度名人戦関連事業(呈茶席)	内容＝5月13日(土)、14日(日)に高槻城公園芸術文化劇場にて開催された「第81期名人戦第3局高槻対局」において、お抹茶とお茶菓子を提供する呈茶席を開催。 [特徴]高槻市で初開催となる名人戦において、お茶席を設けることで会場に華を添えるとともに来場者へ市内の文化活動を知ってもらうことができた。	5月13日 (土)	南館 エントランスロビー	のべ226	主催
2	Takatsuki Art Challenge (障がいのある人のアート展)	出展者＝猪野兼士、音城志保、加地英貴、卓Q、登間佐俊孝、中園晋、223キャンパス、 福本祐里恵、松本みなみ、村濱正博、梁桐子、山田卓史、山本啓、ユウタ 賛助出展者＝亀田雅裕、白井拓郎、茶菌大暉、徳富慎弥 内容＝高槻市内在住作家14名、アトリエライブハウス所属アーティスト4名(賛助出展)による48作品を展示し、併せて制作活動の背景を紹介。 [特徴]多彩な感性で描かれた個性豊かな作品を通じて文化芸術活動を推進するとともに、障がいを持つ方への理解を深めるためのアート展を開催。高槻市内の障がい者福祉事業所の製品を販売する「たかつき〇まるしえ」も同時開催し、賑わいの創出と市民交流の場となった。	7月14～17日 (金～月・祝)	スタジオ 等	のべ1,222	主催
3	第62回 高槻市美術展覧会	内容＝高槻市との共同主催事業。日本画、洋画、立体造形、工芸、書、写真、デザインの7部門の作品を公募選考して展示。 [特徴]応募総数278点。高槻市美術家協会の審査により入選した268点と招待作家らの作品67点を展示。表彰式は太陽ファルマテックホールで開催。ロビーにも展示したことからホールやカフェ利用の方も立ち気軽に寄られ、多くの市民で賑わいを見せた。	9月14日 (木)～17日 (日)	スタジオ 等	のべ9,867	主催
4	令和5年度 高槻市文化祭	内容＝市内の文化団体が園芸、美術、文芸、生活文化、邦楽・邦舞、洋舞、演奏・歌唱、古典芸能などの創作活動作品の展示・発表会及び体験事業を実施。 [特徴]創造・創作活動の発表と鑑賞の機会を提供し、市民交流を深めるなど魅力あるまちづくりのための高槻市文化祭として28事業を実施。各文化団体が主催する事業に加えて、第60回高槻市民音楽祭、俳句コンクール(一般の部、小中学生の部)、こども絵画コンクール、こども文化祭も実施し、多くの参加者・来場者で賑わった。	10月7日 (土)～11月19日 (日)	トリシマホール 等	のべ12,501	主催
5	第6回 桐山清澄杯将棋大会	第6回 桐山清澄杯将棋大会 参加者＝アマチュア棋士 審判＝小林健二 九段(審判長)、平藤眞吾 七段、村田顕弘 六段、北村桂香 女流二段 [特徴]当事業団の桐山理事長の名を冠した将棋大会を開催。市の進める将棋文化の振興へ貢献するとともに当事業団のPRの機会となった。	12月17日 (日)	レセプションルーム 等	222/256	主催
6	第5回 高槻こども王将戦	第5回 高槻こども王将戦 参加者＝一般公募の小学生 審判＝小林裕士 八段(審判長)、井田明宏 四段、久保翔子 女流2級 [特徴]当事業団の桐山理事長の名を冠した将棋大会と、小学生対象の将棋大会を開催。藤井聡太八冠もサプライズ登場し、市の進める将棋文化の振興へ貢献するとともに当事業団のPRの機会となった。	2月17・18日 (土・日)	展示室	満席/83	主催

7	ロビーコンサート	高槻音楽家協会との協働により、ランチタイムに市民が気軽に楽しめる生演奏のコンサートを開催し、市民の憩いの場とする。 ・4月25日、5月23日、6月27日、7月25日、8月22日、9月26日、10月24日、11月28日、1月23日、3月26日実施	毎月 第4火曜日	生涯学習センター 1階ロビー	のべ 865人	主催
8	高槻市民寄席	噺の会じゅげむ(落語愛好家)との協働により、市民寄席を開催し、落語のすそ野を広げる。 ・5月21日、7月23日、9月24日、11月19日、1月21日、3月24日実施	奇数月	生涯学習センター 1階展示ホール	のべ 1,064人	主催
9	サロンコンサート	高槻音楽家協会との連携事業。ピアノや声楽などの生演奏の音楽を楽しむ。 ・4月23日、6月25日、8月27日、9月24日、11月26日、2月25日、3月24日実施	年7回 第4日曜日	クロスパル高槻 8階イベントホール	のべ 875人	主催

(4) 公演事業数 9事業
入場者数 合計26,925人

(6)生涯学習事業

期別	講座種別	講座内容	講師	料金	人数	開催日
春期講座	自然環境ふれあい講座 「高槻・春の自然に触れよう」	春の鶴殿を歩こう	ネイチャーたかつき	¥2,000	24	4月4日
		れんげ畑から玉川の里を歩こう			21	4月18日
		自然あふれる川久保溪谷			19	5月9日
		原を歩こう			23	5月23日
	大阪産業大学提携講座 「匠の技を味わう」	ドローンの飛行における熟練者の技	後藤 彰彦	¥2,500	15	6月5日
		ドローンによる高品位映像の紹介とドローンのみらい	太田 智子		15	6月12日
		農業用ドローンについて	井上 久夫		15	6月19日
		ドローン等を用いた体感型教育プログラムの可能性	青木 崇幸		15	6月26日
		追加講座(ドローン飛行実演)	後藤 彰彦		10	9月28日
	阿武山地震観測所提携講座 「阿武山地震観測所の93年と地域防災」	阿武山地震観測所の93年(その1) 歴史的地震計の時代	飯尾 能久	¥2,500	11	6月6日
		阿武山地震観測所の93年(その2) 微小地震テレメーター観測網の時代			8	6月13日
		阿武山地震観測所の93年(その3) 満点計画とサイエンスミュージアムの時代			10	6月20日
		だれもが参加しやすい避難訓練	矢守 克也		11	6月27日
夏期講座	こども創作講座 「夏休みに詩をつくらう」	詩をつくらう	野呂 昶	¥2,500	23	7月28日
					19	7月31日
					20	8月1日
					22	8月3日
		発表会			18	8月21日
秋期講座	市内大学社会連携セミナー (大阪医科薬科大学)	生活習慣病予防のポイント ー「健康日本21」運動の結果から見た今後改善したい生活習慣を考えるー	加藤 隆児	-	47	9月5日
	自然環境ふれあい講座 「高槻の自然を観る」	川久保の秋の自然を楽しもう	ネイチャーたかつき	¥2,000	18	9月26日
		鶴殿のヨシ原を見に行こう			17	10月17日
		萩谷の里山を楽しもう!			14	10月31日
		芥川で冬の野鳥を観察しよう			15	12月5日
	『立命館土曜講座』提携講座 「人生100年時代のお金の話 ー金融ジェロントロジーとは?ー」	「高齢期のお金と財産の問題 ～法律と税金との関係、ライフプランニング～」	望月 爾	¥2,000	23	10月3日
		「相続税と贈与税 ～配偶者・子供・孫にどう財産を遺すのか～」	浪花 健三		24	10月10日
		「高齢期の「投資」におけるリスク ～「増やす」より「守る」～」	岸本 雄次郎		23	10月17日
	関西大学公開講座 『絵図・名所図会・御触書にみる江戸時代の大坂』	『絵図にみる江戸時代の大坂』	小倉 宗	¥2,000	28	10月6日
		『名所図会にみる江戸時代の大坂』			28	10月13日
『御触書にみる江戸時代の大坂』		27			10月20日	

期別	講座種別	講座内容	講師	料金	人数	開催日	
	同志社大学提携講座 「くずし字認識AIアプリと和本で楽しむ庶民の古典(カルタ・謎かけ・判じ物など)」	くずし字入門「和本のくずし字をスマホのAIアプリで読んでみよう！」	山田 和人	¥2,500	19	10月24日	
		和本作り体験「綴じたり、貼ったりして、和本を身近に感じてみよう！」			18	10月31日	
		和本フィールドワーク予習編「地誌やゆかりの芸能で昔の人と歩いてみよう！」			18	11月7日	
		和本フィールドワーク本番編「地誌を片手に野崎観音(慈眼寺)を歩いてみよう！」			16	11月14日	
	大阪音楽大学公開講座 「音楽の宝石箱」	『邦楽アンサンブルの魅力』	片岡 リサ	¥3,000	123	10月27日	
		『歌の起源を探る』	田中 勉		96	11月10日	
		『音楽の可能性の限界に挑戦』～交響曲からポップスまで～	松田 淳一		106	11月17日	
		『オーボエ？オーボエ！』	大島 弥州夫		99	12月1日	
	冬期講座	毎日新聞社提携講座 「時代を読む『記者の目』」	「どうなる大阪・関西万博」	三上 健太郎	¥2,000	22	2月6日
			「京アニ事件の裁判を取材して」	久保 聡		21	2月13日
「阪神タイガース AREの舞台裏」			荻野 公一	20		2月20日	
特別講座 「世界遺産・日本遺産の古墳群」		百舌鳥古墳群の歩き方	来村 多加史	¥2,000	32	2月8日	
		古市古墳群の歩き方			31	2月15日	
		新原奴山古墳群・宮崎四大古墳群ほか			30	2月22日	
市内大学社会連携セミナー (大阪医科薬科大学)	「元気で長生きするため、血圧をコントロールしましょう」	高井 真司	-	45	2月26日		
「紫式部と源氏物語の世界」 (NPO法人たかつき市民カレッジと共催で講座を実施)	「紫式部の見た宮中ー紫式部日記絵巻ー」	木村 朱晶	¥2,500	84	1月15日		
	「描かれた源氏物語の世界①ー源氏物語絵巻ー」			85	1月22日		
	「描かれた源氏物語の世界②ー近世の源氏絵ー」			81	1月29日		